

---

## IV 重点的取り組み

### 夢と誇りと自信 次世代へつなぐまちづくり

県・関係事業者等と連携した、中心市街地における地方創生に関わる包括的な取り組み

#### 1. 趣旨

本市の中心市街地は、郡山城を中心とした城下町を基礎として形成されており、大阪圏・京都圏への利便性が高い近鉄郡山駅やJR郡山駅、市役所、やまと郡山城ホールをはじめとした公共施設が点在しています。

現在整備中の郡山城天守台の石垣、お堀や町屋、寺社仏閣など歴史を色濃く残す町並みを有し、お城まつりや全国金魚すくい選手権大会の開催時などには、多くの観光客が訪れており、これら交流人口を受入れるポテンシャルを十分に活かす取り組みが、より一層求められています。

また、金融機関や商店等が軒を並べる中心商店街も形成されており、各種イベントや空き店舗対策などに取り組んでいるものの、全国地方都市における商店街と同様の課題を有しており、本市の顔として、また歩いて暮らせるまちづくりのためにも商店街の魅力を向上させる取り組みが求められています。

そこで、利便性を重視する若年層の転出抑制、地域経済の活性化や本市らしいコンパクトなまちづくりを牽引するため、地方創生に関わる各種施策・事業を包括的に展開することで、今の世代と次世代とが、このまちに夢と誇りと自信を持てるまちづくりに取り組みます。

## 2. 主な取り組み

中心市街地は、住む場所であり、働く場所であり、多くの人を訪れる場所でもあるため、まちづくりを行うには、それぞれのニーズを十分に吟味し、必要な取り組みをそろえることが重要になります。

そのためには、お城や商店街、城下町らしい街並み、近鉄郡山駅及びJR郡山駅などの地区内の資源や、市内企業や地元農産物など市全域に広がる資源を「ブランド」として結びつけるとともに、住み、働き、訪れる人々と資源とをつなげる取り組みが必要になります。

そこで、確実な成果を導くために、次に示すような多様な施策・取り組みをニーズに応じてパッケージ化し、庁内横断的に、かつ、県・関係事業者との連携のもと取り組むことを考えます。

### <取り組み例>

- 起業や新たな店舗出店など、次世代を担う店主や事業主のチャレンジを、産官学金労言によって総合的に支援する取り組み
- 金魚が泳ぐまちづくり事業、郡山城を活かしたまちづくり事業など地域ブランドを確立・向上させる観光・交流に関する取り組みと、それらの基盤となる交通結節点機能や都市計画道路整備の取り組み
- 安全・安心なまちづくりの拠点となる市役所庁舎の建替検討や、公共施設の耐震補強及び改修・維持補修の取り組み

